

第3学年B組 保健体育科(保健分野) 学習指導案

授業者 内田 貴美子

1 単元名 「健康な生活と疾病の予防」 (カ) 健康を守る社会の取組

2 単元について

本単元では、人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立っていること、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それに関わる要因に対する適切な対策があることについて理解できるようにする。(カ)健康を守る社会の取組では、健康の保持増進や疾病の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに社会の取組が有効であることを理解できるようにする。社会の取組としては、地域には保健所、保健センターなどがあり、個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることを理解できるようにする。その際、住民の健康診断や健康相談などを適宜取り上げ、健康増進や疾病予防についての地域の保健活動についても理解できるようにする。

また、心身の状態が不調である場合は、できるだけ早く医療機関で受診することが重要であることを理解できるようにする。さらに、医薬品には主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。

3 生徒の実態

本学級の生徒は、日頃から心身の状態が不調である場合に保健室を利用して休養したり、健康相談をしたりするなど、健康的な生活行動として個人の取組を行うことができている。一方、社会の取組として、コロナ禍において地域の保健所や保健センターなどの機関と関わりが増えたものの、各機関が持つ機能を知り、有効に利用しようとする生徒は多くないように感じる。また、適切な医療機関の受診や医薬品を正しく使用することができていない生徒も見受けられる。健康の保持増進や疾病の予防には、個人の取組とともに社会の取組が有効であることを理解できるようにしたい。

4 教師の指導観

本校の研究主題を受け、二つの手立てを基に指導をしていく。

(1) 困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの場面の設計

生徒にとって難易度の高い課題として、クラス全体に4つの課題を提示する。また、教師は適切な場面で生徒の言葉をつなぎ、生徒が試行錯誤しながら挑戦する学びの場面をつくっていく。

(2) 教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て

4人(または3人)のグループで難易度の高い課題に取り組む場面を設定することで、一人ひとりが主体的に学習に取り組むとともに、教師や仲間との対話によって協働的に学ぶ場面をつくっていく。

5 単元の目標

- (1) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、個人や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用すること、医薬品は正しく使用する必要があることを理解することができるようにする。 <知識及び技能>
- (2) 健康な生活と疾病の予防について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝え合うことができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>
- (3) 自他の健康に関心をもち、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付ける学習に主体的に取り組むことができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①健康の保持増進や疾病の予防には、健康的な生活行動など個人が行う取組とともに社会の取組が有効であること、社会の取組には、地域には保健所、保健センターなどがあり、個人の取組として各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。また、について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②心身の状態が不調である場合は、できるだけ早く医療機関で受診することが重要であること、医薬品には、主作用と副作用があること及び使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①健康の保持増進や疾病の予防における個人と社会の取組について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p> <p>②適切な医療機関の受診や医薬品の使用方法について、習得した知識を自他の生活を関連付けて健康の保持増進をする方法を見出している。</p>	<p>①自他の健康に関心を持ち、生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を身に付ける学習に主体的に取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全時間）本時は第1時

時	ねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進や疾病の予防には、個人の取組と社会の取組が有効であることを理解できる。 ・個人の取組と社会の取組の有効な利用の仕方について考え、自分の言葉で表現できる。 <p>II 学習活動</p> <p>1 個人の取組として行っている健康的な生活行動を想起する。</p>				

(3) 展開

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点 (指導○ 評価◆ 学校研究とのかかわり☆)
導入 3分	<p>1 健康的な生活行動を想起する。</p> <p>〈予想される生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝る ・栄養バランスのよい食事を摂る ・病院へ行く ・薬を飲む ・保健室へ行く 	<p>○予防としての行動のほかに、ケガや病気をした時の行動を想起できるよう促す。</p> <p>○生徒の発言を聞いて、健康的な生活行動を板書する。</p> <p>○2年生での既習事項と関連付ける。</p>
展開 42分	<p>2 本時の学習のねらいを知る。</p> <p style="text-align: center;">健康を守るために有効な社会の取組を知り、自他の生活で利用できるようにしよう</p> <p>3 グループで課題に取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>○夜間に体調不良になった家族の対応を考えると、社会の取組を知る</p> <p>○乳児死亡率の比較から社会の取組を知る</p> <p>○死因の推移から社会の取組を知る</p> <p>○災害発生時の健康・生活環境の整備を考えると、社会の取組を知る</p> </div> <p>4 個人の取組とともに社会の取組を有効に利用する必要があることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域保健の機能 ~保健所~</p> <p>学校…健康診断、保健指導、保健委員会 地域…保健所、保健センター がん検診、歯科保健、母子保健 等 国…厚生労働省、日本国憲法第25条 健康増進法 等</p> <p>災害発生時の生活環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清潔な水(飲料水、生活用水)の確保 ・トイレ ・安全な食料品 ・衛生的なごみ処理 ・適正な室温、湿度等の屋内環境の整備 ・健康管理、医療や医薬品の確保 ・個人のプライバシーの確保 等 </div> <p>5 健康を守るための個人の取組と社会の取組の有効な利用について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題</p> <p>2020年2月、日本で初めて新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認され、およそ3年間コロナ禍が続いた。3年前を振り返った時、私達の生活を守るために個人と社会の取組を掛け合わせて考えたら、あなたはどんなことができたか。</p> </div>	<p>○3～4人グループで課題に取り組むよう指示をする</p> <p>○話し合いの内容を全体で共有しつつ、それを踏まえて、グループで話し合いの内容をまとめるよう指示をする。</p> <p>☆困難に向き合い、試行錯誤するなどの挑戦する学びの設計</p> <p>☆教師や仲間との協働的な学びの充実の手立て</p> <p>○保健機関の例を挙げ、健康を守るには、個人の取組とともに社会の取組を有効に利用することが必要であることを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆健康の保持増進や疾病の予防には、個人の取組と社会の取組が有効であることについて、言ったり書いたりしている。</p> <p style="text-align: right;">【知識及び技能】</p> </div> <p>「努力を要する」状況(C)と判断された生徒への手立て コロナ禍における保健所の対応を想起させ、社会の取組に気付くよう促す。</p> <p>○個人の取組として、社会の取組を有効に利用する場面を具体的に考えるよう指示をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆健康の保持増進や疾病の予防における個人と社会の取組について、話し合ったり、記述したりして、伝え合おうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】</p> </div> <p>「努力を要する」状況(C)と判断された生徒への手立て 授業内容や板書を振り返り、自他の生活と関連付けて考えることができるよう促す。</p>
まとめ 5分	<p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○何人かの生徒に本時の学習で分かったことや気付いたことを発表するよう促す。</p>